

第4回いなべ市総合計画審議会 会議録

|  |  |
|--|--|
| 会議名  | 第4回いなべ市総合計画審議会(第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定)   |
| 開催日時   | 令和元年11月26日(木) 14:00~15:30  |
| 開催場所   | いなべ市役所議会棟 2階 第1委員会室  |
| 出席者  | <p><b>【委員】</b><br/>出席(14名)<br/>丸山康人、田中佳奈、近藤忠彦、神谷清、岩花まつ子、福本美津子、中村弘樹、二井加代子、小林久里子、伊藤和雄、佐藤忠生、小川好彦、水貝和代、弓矢孝己<br/>欠席(6名)<br/>欠席 中澤政直、相田直隆、伊藤由佳、川上修、山本たか代、小川時生</p> <p><b>【事務局】(17名)</b><br/>総務部長、市民部長、環境部長、福祉部長、健康子ども部長、農林商工部長、建設部長、教育部長、水道部長、企画部長、政策課長、政策課2名</p> <p><b>【オブザーバー】</b> ジャパンインターナショナル総合研究所</p>   |
| 会議次第   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 説明および審議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民満足度調査追加説明について…資料1</li> <li>(2) スケジュールについて…資料2</li> <li>(3) まち・ひと・しごと創生基本方針2019…資料3</li> <li>(4) 第2次いなべ市総合戦略(案)について…資料4</li> <li>(5) 人口ビジョン修正について…資料5</li> </ol> </li> <li>4. 意見交換</li> <li>5. 次回の会議について</li> <li>6. 閉会</li> </ol> |
| 配布資料   | <p>資料1…市民満足度調査(2019)問23のクロス集計</p> <p>資料2…総合計画第2期基本計画・第2次総合戦略スケジュール</p> <p>資料3…まち・ひと・しごと創生基本方針2019について</p> <p>資料4…第2次いなべ市総合戦略(案)</p> <p>資料5…いなべ市人口ビジョン(現在の状況)</p>   |
| 公開、非公開の別   | 公開   |
| 議 事 概 要  |  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 説明および審議事項</li> </ol> |  |

(1) 市民満足度調査追加説明について

【事務局】

資料1について説明

(2) スケジュールについて

【事務局】

資料2について説明

【会長】

スケジュールの確認は、私から毎回お願いしているものである。今、どんな段階にあるのかを委員の皆さんと確認したうえで議論していきたい。では、次の議題に進みたい。

(3) まち・ひと・しごと創生基本方針 2019

【事務局】

資料3について説明

(4) 第2次いなべ市総合戦略（案）について

【事務局】

資料4について説明

【会長】

国のまち・ひと・しごと創生基本方針及び第2次いなべ市総合戦略（案）について説明をいただいた。量が多かったが、何かご意見やご質問があればいただきたい。

【委員】

28頁に障がい福祉サービスの充実についての項目があるが、今回の計画には障がい者の意向は反映されているか。

【事務局】

今回実施した市民満足度調査は、18以上の市民3,000人に無作為で実施しており、障がい者のある方かどうかを把握する内容にはなっていないが、障がいのある方については、障がい福祉にける個別計画で3年に一度アンケート調査を実施しており、障がい福祉施策に反映している。

さらに、資料3の3頁、「(5) 誰もが活躍できる社会をつくる」にも記載があるように、総合戦略においても障がい者の視点は含まれている。

(5) 人口ビジョン修正について

【事務局】

資料5について説明

【会長】

現時点での人口推計を出してもらった。人口の動向が今後どのような方向に向かうかによって総合計画や総合戦略の方向性も変わる大切な部分である。ただ今の人口ビジョンと、先程の総合戦略についてでもよいので、ご意見、ご質問をいただきたい。

【委員】

四日市市や東員町は人口が増えていると思うが、いなべ市も若い人に縁をもってもらえると良いと考える。移住定住には持ち家の状況も関係してくると思うが、いなべ市の状況はどうなっているのか教えてほしい。

【事務局】

今すぐにはお伝えできないが、国の統計で確認が可能であるため、次回の会議で報告させてい

ただく。

**【委員】**

いなべ市の消防団の人数は、現在 327 名となっており、一定数の団員は確保できている。三重県下では、いなべ市だけが女性消防団員がいないという状況であるため、女性の消防団員の確保についても検討している。

また、市役所の職員が消防団に入らないという声も聞く。私の息子も入っていない。本会議の委員の皆様も是非お子さんに消防団への加入をお勧めしていただきたい。

消防の車輛は、現在は大きなものが入っており、充分の状況である。今後、免許証の関係で小さな車輛への移行が検討されているという話を聞くが、全て軽車輛となると十分な人数が搭乗できないことが懸念される。

また、消火栓を使った訓練で水が汚れるからやめてほしいという話があったが、溜池だけでなく消火栓も使いたいのので、この場で整理できればと思う。

**【執行部】**

消防の車輛については、新しい普通免許では中型に乗れなくなったため、中型免許の取得を補助しているが難しい状況である。将来的には小さな車輛の導入を検討しなければならないが、長期的な検討になるため、この場では結論は申し上げられない。

また、消防団員については、市役所及び市内企業への働きかけを行っている。

**【執行部】**

消火栓については、前回、直接消火栓につないで訓練を行ったところ、近隣住民から水が出ないという苦情があった。小さな管だと水量が少なく、水が出なくなることがある。大きな管のある場所であれば大丈夫なので、ご配慮をお願いしたい。

また、有事の際であれば近隣住民も理解してくれる。

**【委員】**

先程の件は、事前に水道課に申請したと聞いている。配管の状況は把握できないので、申請時に水道課からアドバイスをもらえればよいと思う。トラブルが起きないように実施したい。

**【執行部】**

事前申請については把握していなかった、申し訳ない。また、水が濁るという件については、間に付着しており通常は流れない物質が、高い水圧で流れ出たためではないかと思う。

**【委員】**

人口について考えることは、まちづくりの上で大切なことだと感じた。労働力となる人が増えないと、まちは活性化しない。一方で誰もが住みやすいという視点も大切である。若い人が定住して、子どもたちもずっと住みたいと思えるまちにしたいと考える。

まず、空き家の活用について聞きたい。いなべ市は多子家庭が多いと感じているが、田舎で育った若い人たちはアパートよりも庭付きの住宅を好むのではないか。空き家の情報はどのようにしたら確認できるのか伺いたい。現在は古民家の活用も流行しているようである。

また、いなべ市は製造業が多いということだが、私の周辺を見てもその実感がある。アパートが増え、単身の男性が多くなっている。期間従業員の方も多く、会社都合の異動や収入の不安定さによって結婚しない方が増え、地域との関係も築けずにいるのではないか。こうした人たちにもしいなべ市に定住してもらえるアイデアがあれば聞かせてほしい。

**【執行部】**

空き家については市内をローラーして実態調査を行い 1,000 件程発見したが、意見聴取したところ、空き家ではないと主張される方が多く、空き家と認定できたものは 200 件程度だった。空き家バンクの制度があるが、知らない人に空き家を使ってもらうことへの抵抗感等があり、なか

なか活用は難しい状況である。しかし、空き家バンク制度を通じて年間2～3件は成立している。  
また、期間従業員に対応したアパート建設や宅地の開発もある。一定の年で寮を退出する大企業もあり、こうした人を対象にした住宅団地ができ、そちらへ移る人もいるという状況である。

**【委員】**

次回に活かせればということで、アンケートの工夫をお願いしたい。若い世代をどうやって呼び込むかということについて、もっとアンケートで問いかけていけないかと考える。一つの要因だけでは課題は見えない。住む場所、子育て、晩婚化やいなべで働く人の状況等をふまえて、有効にクロスをかけられるアンケートを検討してほしい。

**【会長】**

今後はこの総合的な計画をふまえて、個別計画で具体的に施策を進めていくことになる。いなべ市は製造業が多く、国際的な経済の影響を受けやすい。計画の中にも記載があったが、今後は多様化という視点も必要となっている。

予定の時間も経過しているので、次回の会議について事務局より説明をお願いしたい。

5. 次回の会議について

令和2年2月18日（火）午後2時から、いなべ市役所議会棟2階第1委員会室で開催

6. 閉会

その他事項

無し